

会 議 録

会 議 名	相模原市立東林公民館運営協議会			
事 務 局	東林公民館 電話042-744-0087 (直通)			
開催日時	令和5年11月18日(土) 午後3時～4時10分			
開催場所	1階 ホール1・2			
出 席 者	委 員	21人 (別紙のとおり)		
	その他	人		
	事務局	4人		
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数 0人
公開不可・一部 不可の場合は、 その理由				
会議次第	1 館長あいさつ 2 議題 (1) 令和5年度事業報告について 3 その他			

協 議 経 過

主な内容は次のとおり（○は委員の発言、●は事務局等の発言）

1 館長あいさつ

日頃からの公民館事業へのご理解及びご協力並びに老人クラブ連合会の皆さんによる秋の花植えに対して謝辞が述べられた。

令和5年度事業について、女性学級や高齢者学級がコロナ前の規模でできたこと、第2回スポレク大会は自治会連合会のご支援をいただき、昨年度よりも多い156名の参加で開催できたことなど、主な事業の様子をお伝えした。

また、来年3月に東林公民館が創立50年を迎えること、及びお祝いの事業を検討している旨をお伝えした。

最後に、運営協議会の会議録の取扱いについて説明した。

2 議題「令和5年度事業中間報告について」

各専門部及び事務局から今年度事業の中間報告及び今後の予定について説明があった。

(体育部)

- ・中間報告…「ファミリーバドミントン講習会・大会」、「ボッチャ講習会」、「スポレク大会」、「軟式野球大会」
- ・今後の予定…明治大学硬式野球部による「少年野球教室」、初の「ボッチャ大会」スポレク大会は昨年度より種目を増やして実施した。ボッチャは面白い競技なので、大会には、みなさんにも参加して欲しい。

(青少年部)

- ・中間報告…「親子ふるさとうどん作り」、「七夕飾りづくり」、「子ども社会見学」、「ゲームラリー大会」
- ・今後の予定…「クリスマス工作教室」、「とうりんコンサート」、「子ども科学教室」地域の小中学生による「とうりんコンサート」は素晴らしいので、見に来て欲しい。また、次年度事業の参加者を増やす工夫を考えていきたい。

(文化事業)

- ・中間報告…「朗読で知る日本の名作の世界」、「仕事や家庭に役立つ整理収納講座」
- ・今後の予定…「版画教室」、「料理教室」、「ウクレレ教室」

来年度は、少し早い時期から活動をスタートし、事業も増やしていきたい。

(広報部)

- ・中間報告…7月と10月に館報「225号」と「226号」を発行
- ・今後の予定…12月に「227号」、3月に「228号」の発行を予定。

館報を作るにあたり、一人でも多くの方に公民館に足を運んでいただけるように心掛けている。部員が増えるよう、周囲の方に声を掛けていただきたい。

(高齢者学級)

全10回で実施し、ほとんどの参加者から非常によかったという声をいただいた。初回と最後は音楽、その間に歌や体操、古典や歴史などを盛り込み、非常に効果があったと考えている。来年度は、さらに皆さんが元気よく長生きしたいと思える内容にしていきたい。

(女性学級)

「日本を知ろう楽しもう」をテーマに全9回の講座を実施した。とくに「香道」は、何をやるのか実際に知らない方も多く、興味深く感じられたようだった。準備委員は今年度3名だったが、来年度に向けてすでに7名の方にお申し出をいただいている。

館長

ファミリーバドミントン大会は、親子での参加が多く、公民館事業も工夫次第で、若い世代にも来ていただけることがわかり印象的だった。

3 その他

(1) 東林公民館諸室の利用状況について

事務局から、直近3年間の利用率の推移を説明した。令和2年度のコロナ禍の時期と比較し、年々、利用率が順調に回復している状況を報告した。

(質疑)

○ 登録団体・サークル数の推移は。

● 館長 4年度は、3年度に比べて20団体ぐらい増加している。コロナ禍で成り立たなくなったサークルの活動が復活してきたようで、登録数も上向きの傾向である。

○ 利用率の計算に自治会、社協などの減免団体の利用も入ってるのか。

● 館長 入っている。東林では、11月から部屋に空きがある場合、職員がいる時間帯に限り、当日利用と部屋の変更の受付を始めた。反響を見ながら柔軟な対応をしていく。

○ 子どもが利用する場合、市の施設のように無料にならないのか。

● 館長 公民館の場合、子どもが使うからという理由だけでは使用料免除とはならない。子育てや子どものための事業に利用する団体・サークルなど、団体の目的、活動内容を見て減免対象になるかを判断する。

○ 音楽など大きな音を出すサークルは、活動する上で何か制限はあるのか。

● 館長 東林公民館は、近隣に多くの家がある地域なので、周りの方々のご理解がないと公民館の運営が成り立たない。できれば大音量はご遠慮いただきたいが、苦情もいただいております。サークル・団体には、音量を小さくするようにお願いし、お聞きいただけないときには、利用をお断りせざるを得なくなる場合も出てくる。

(2) 東林公民館の50周年事業について

館長から、予算を掛けずに身の丈に合った東林公民館らしい50周年を作っていきたい、今回は素案を説明し、3月の運営協議会にお諮りしたい、と基本的な考え方をお伝えした後、事務局から素案の説明を行った。

(質疑)

○ 市政の変遷と公民館の歴史と並べて、比較して掲示したり、現在50歳の人に招待状を出すなどして、東林公民館のまわりをお祭りに巻き込んだらどうか。

○ 予算を掛けて新しい事業をするのではなく、既存の事業の中で、将来につながる小さな種を見い出していくのであれば、無理がなくできるのではないかと。そして、将来の人が、いつか振り返ったときに、この事業は50周年の時から始まったんだなというような意味合いが出てくる。

- 文化祭のときに 50 周年事業のための募金箱を設置できないか。
- 館長 公民館事業に募金箱を置くことが適切なかどうか、教育委員会にも確認してみたい。
- 記念式典を 3 月に実施するのは、タイミング的に遅いのではないか。
- 館長代理
準備にある程度時間を要するため、記念式典は 3 月を想定しているが、可能なものは早い時期に実施し、1 年間を通して 50 周年のお祝いムードを出していきたい。

(2) 事務局から連絡事項

次回の運営協議会の予定をお伝えするとともに、今回の会議録の作成について、ご意見等がある場合、ご連絡いただくようお願いした。

4 閉会

館長のあいさつにより協議会を閉会した。

東林公民館第2回運営協議会出欠簿

No.	氏名	所属等	出欠席
1	飯田生馬	東林公民館長	出席
2	田村久司	東林地区自治会連合会	出席
3	吉村建志	東林地区自治会連合会	出席
4	根岸秀生	東林地区自治会連合会	出席
5	藍葉洋子	東林地区社会福祉協議会	出席
6	横田福子	東林地区民生委員児童委員協議会	出席
7	遠藤裕	東林地区老人クラブ連合会	欠席
8	松井昭治	東林公民館体育部	出席
9	阿部智恵子	東林公民館体育部	出席
10	大野幸子	東林公民館青少年部	出席
11	吉岡美保	東林公民館青少年部	出席
12	野浦正幸	東林公民館文化部	出席
13	岡本景子	東林公民館文化部	出席
14	柴田和子	東林公民館広報部	出席
15	山本政子	東林公民館広報部	出席
16	田巻直人	東林地区小・中学校校長 (上鶴間小学校校長)	欠席
17	鈴木志保	P T A 代表 (東林中学校)	出席
18	上田奈美	東林地区交通安全母の会	出席
19	高木博見	東林地区健康づくり普及員協議会	出席
20	高橋光一	東林男性ボランティアの会	出席
21	村上克枝	公募	欠席
22	角田久枝	公募	出席
23	田川恵子	公募	出席
24	渡邊亮	学識経験者 (前公民館長)	出席